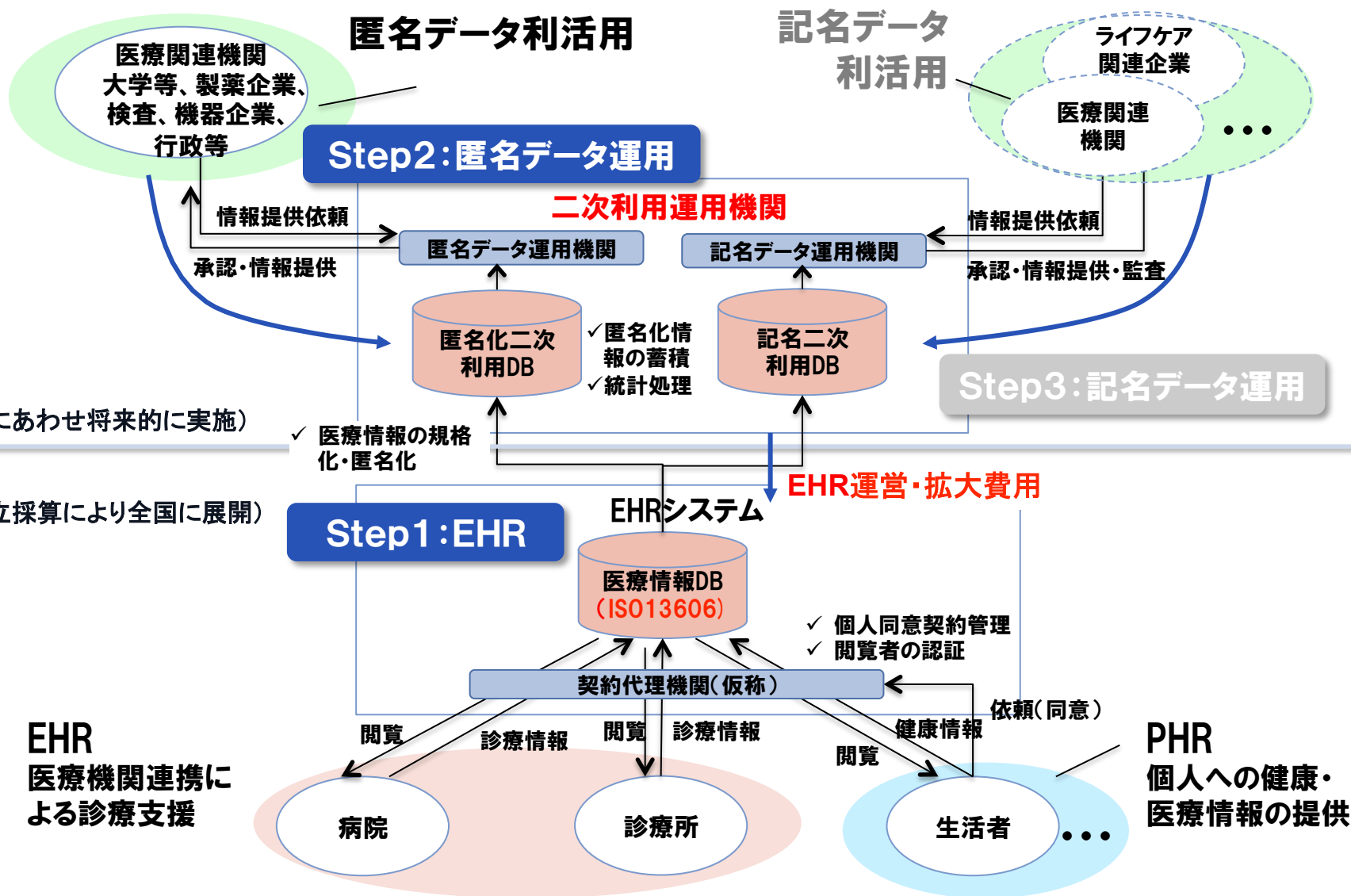


事業の概要

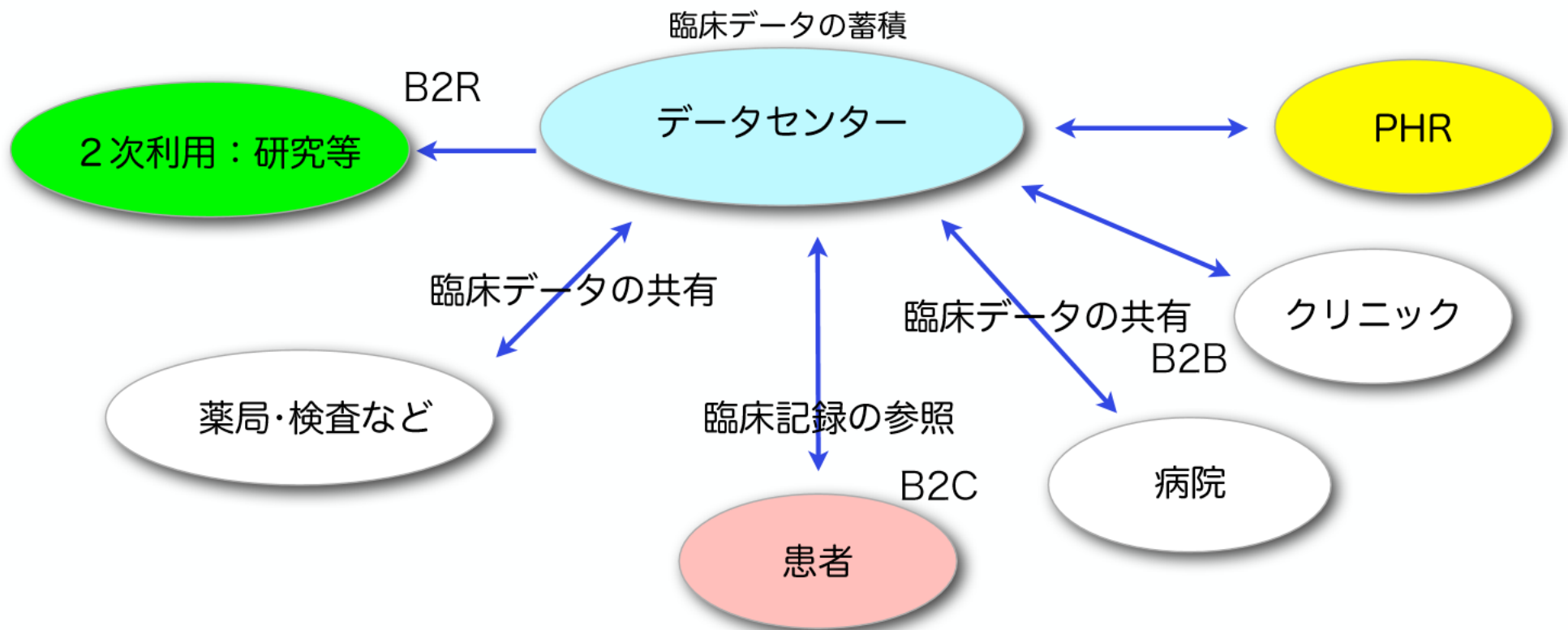
EHRを基盤として整備することと併せ、二次利用運用機関を設置し、医療データの二次活用を進めることで、データの利活用とEHRの運用を独立採算で継続する体制を構築する。



- 展開準備
(法の整備等にあわせ将来的に実施)
- 基盤構築
(将来的に独立採算により全国に展開)

EHRの基本概念とサービス

- 0) 診療情報のバックアップ
- 1) 患者向け臨床データの開示 (B2C)
- 2) 医療機関同士のデータ共有 (B2B)
- 3) データの2次利用 (研究等) (B2R)



ISO13606とは

ISO13606の特徴: Archetypeとよばれる臨床概念モデルを用いて医療情報を定義する。

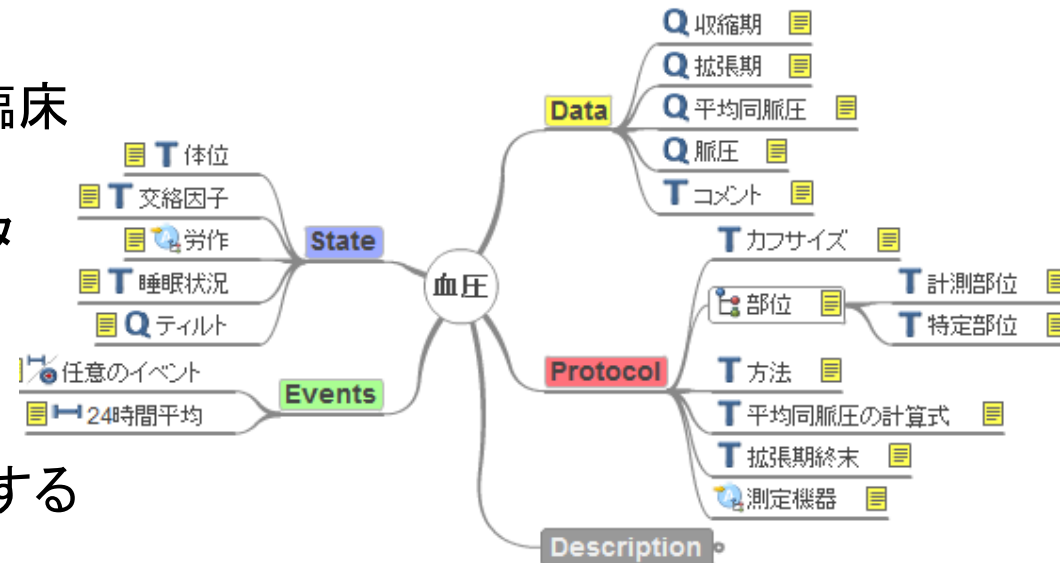
Archetype とは

1. Maximum Dataset を定義

- 結果的に起こりえる事象をすべて包含するデータセットを定義する
- 最初からすべてを完成させる必要はない
- 必要だと思った人が、必要な項目を追加していく

2. ひとつの臨床概念を表すパーツ

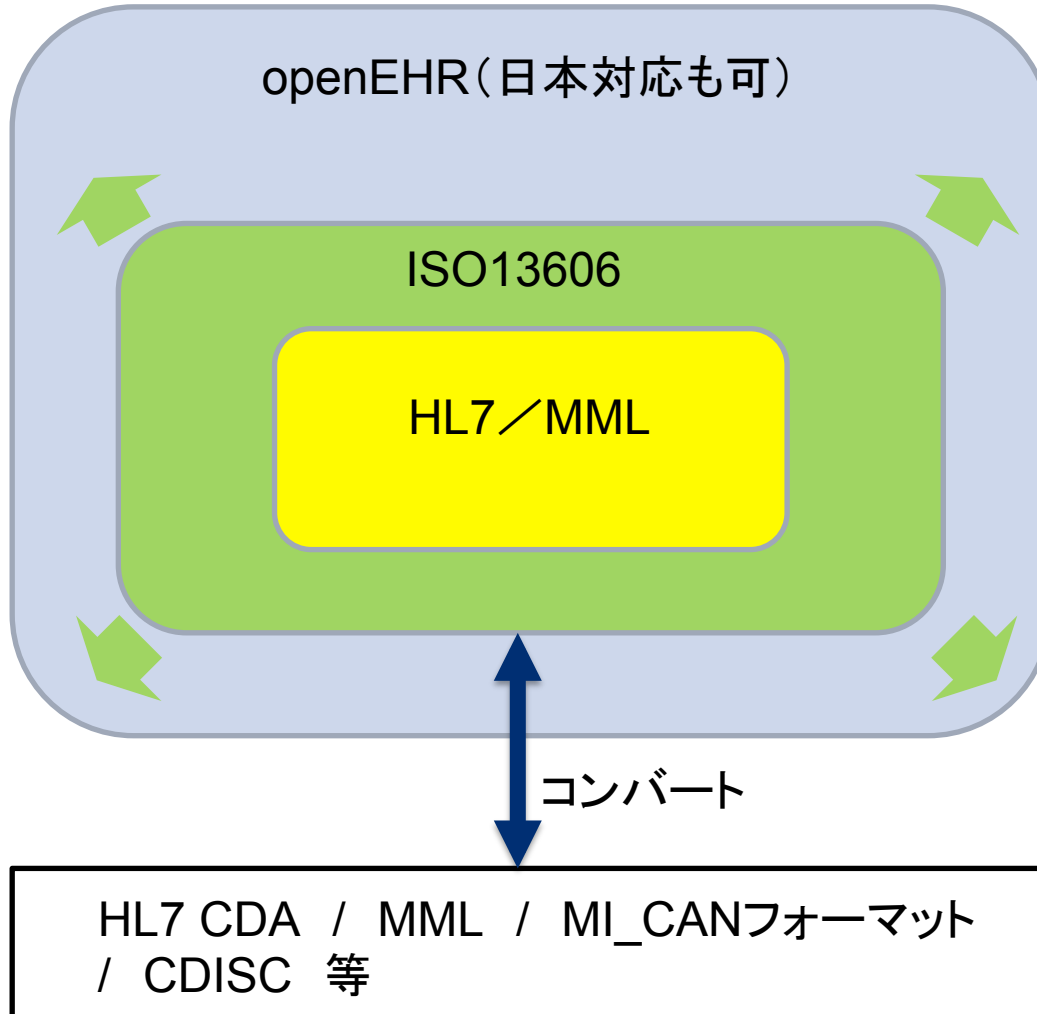
- すべてのパーツ(archetype)は、臨床概念上はフラットに扱える
- パーツの組み合わせによりデータセットを定義する
- Archetypeを組み合わせ、上位の一つの意味集合 (Composition archetype)を形成する



ISO13606と既存規格の関係

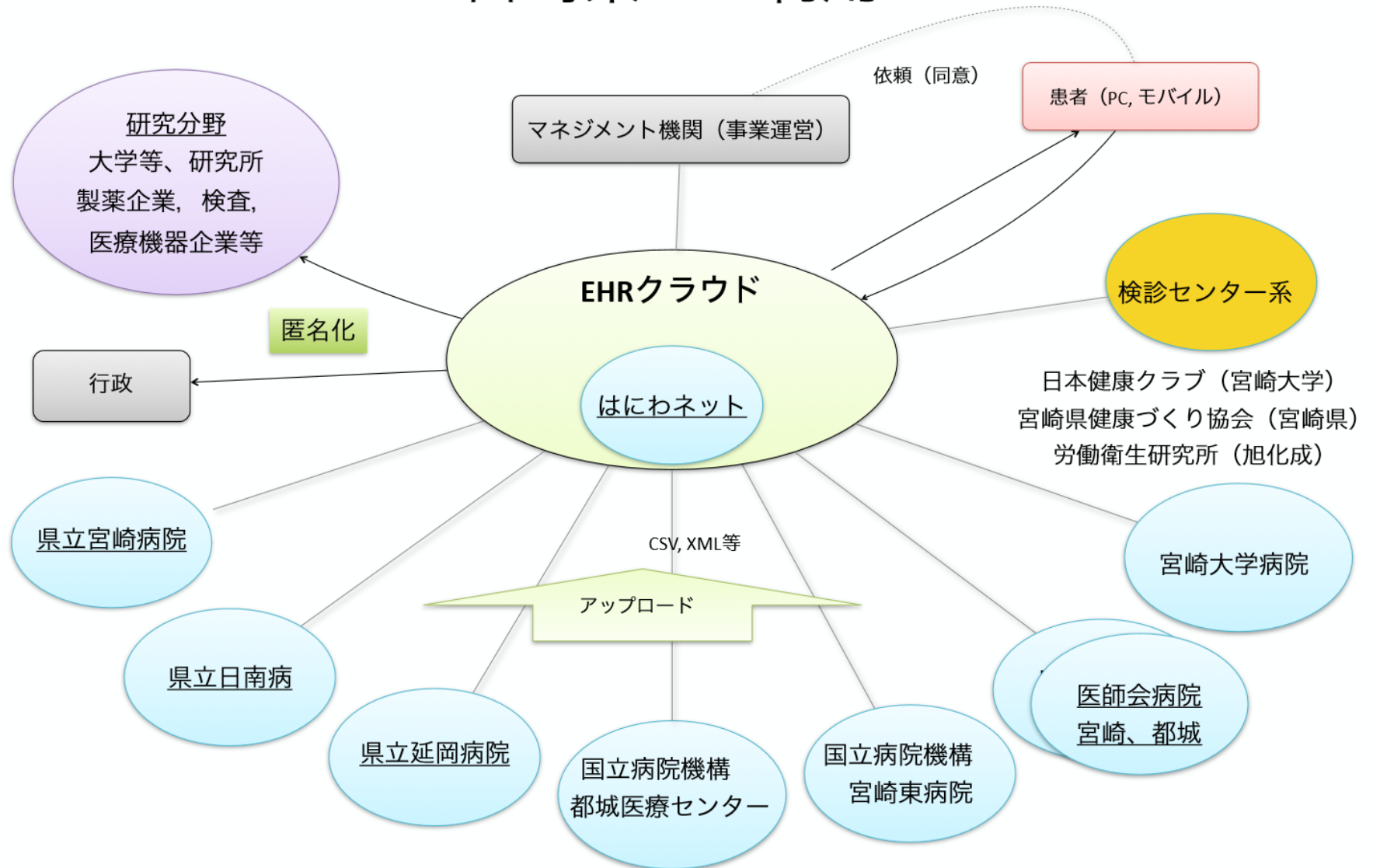
ISO13606はHL7/MMLのすべてのバージョンを包含することができる。

医療情報領域



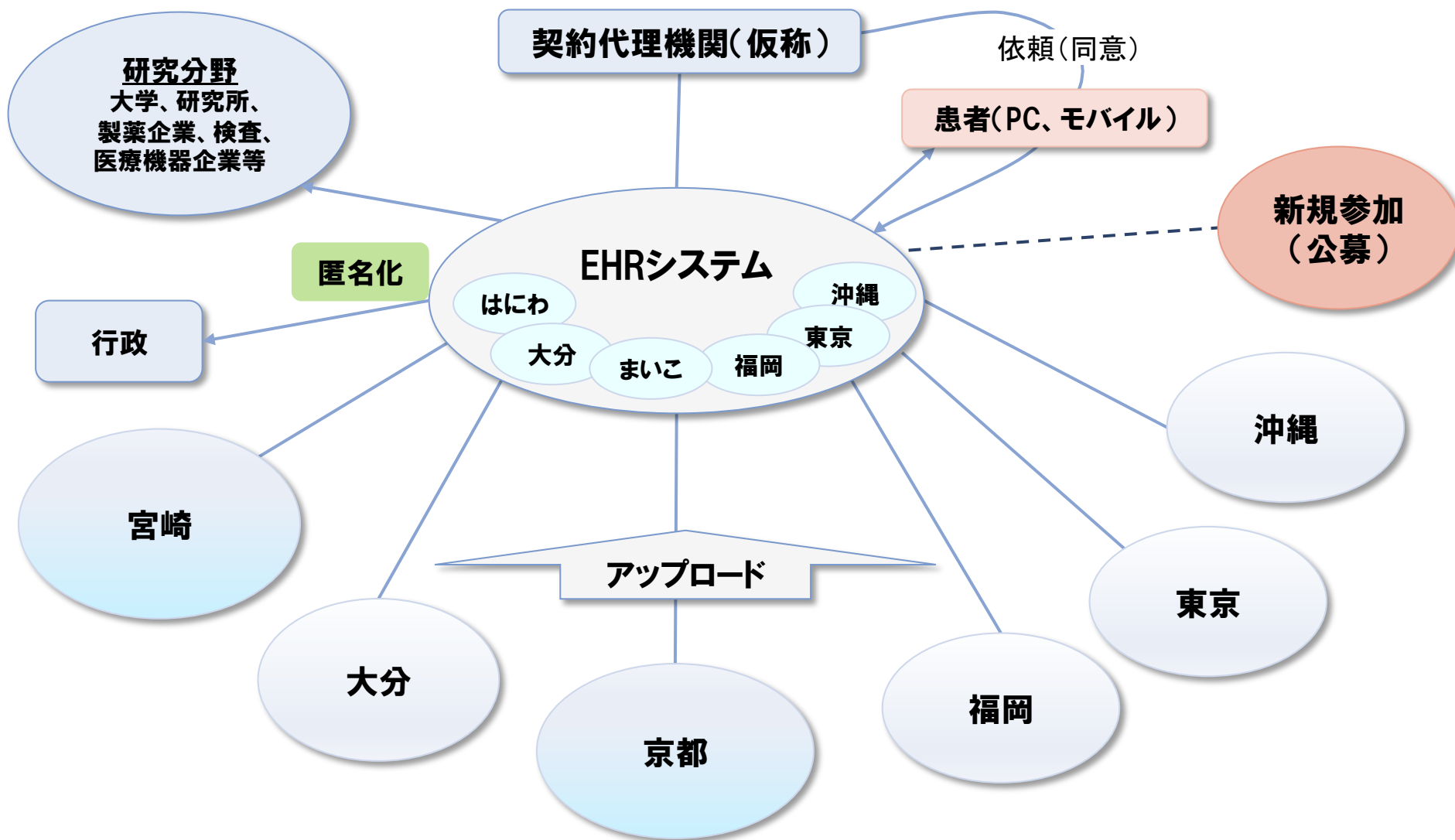
- ISO13606はopenEHRプロジェクトによる成果の一つである。
- ISO13606はopenEHRのサブセットであり、現在拡張中。
- 他のシステムで作成されたHL7メッセージやCDISC標準、MMLなどもopenEHRで取り込むことが可能である。
- openEHRは日本の状況に合わせてローカライズ対応できる。
- openEHRは現在急速に普及しつつある。
 - ✓ MEDINFO2015で17カ国から実装報告がなされた。(14、15頁参照)

宮崎県での利用



展開計画：EHRクラウドの将来接続

宮崎、京都での基盤確立後、接続先を公募し全国展開を進めていく。



Step 1: EHR

EHRシステムの構築に当たり、様々なカテゴリーの施設から様々な規格でデータを収集する。データ形式変換機能(Mapper)を用い、ISO13606に対応したデータ形式で蓄積する。更に国内外のEHRシステムとの連携や海外展開を行う。

データ送信

- 接続先が対応できる既存規格(HL7(SS-MIX)、MML等)で送信

データ変換

- データ形式変換機能を開発

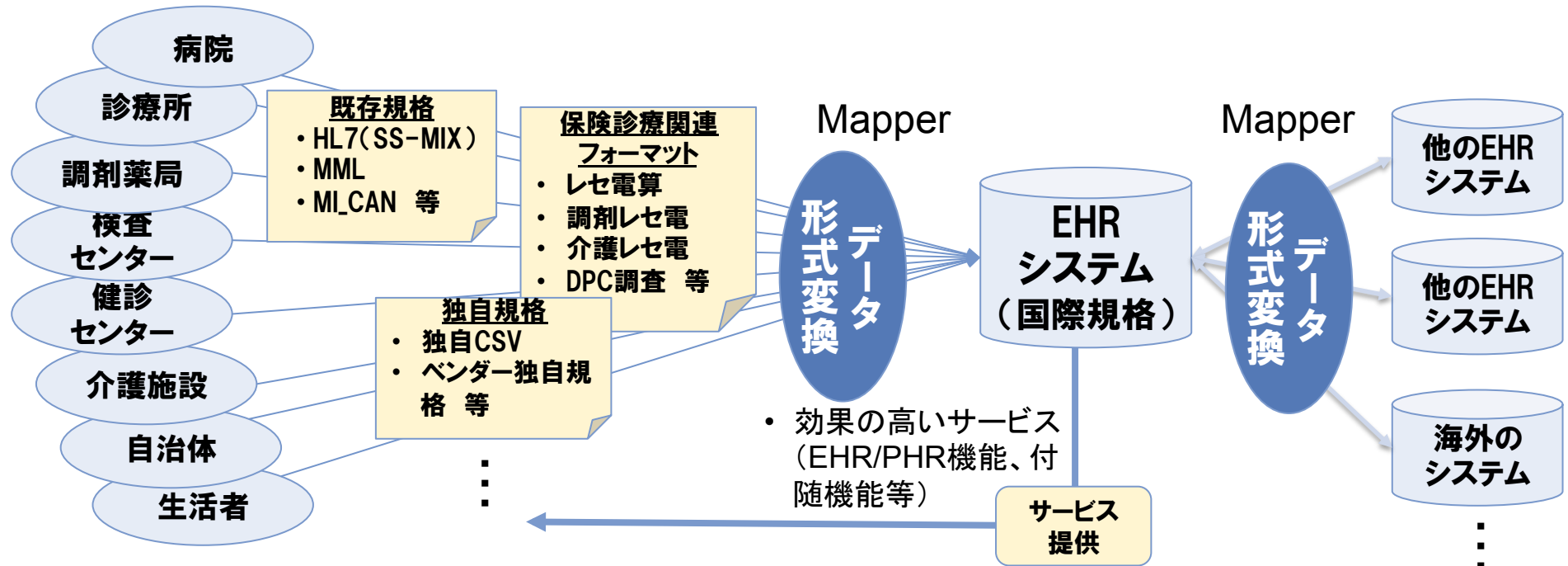
データ蓄積

- ISO13606に対応したデータ形式で蓄積

相互連携

- 他のEHRシステムの規格に変換

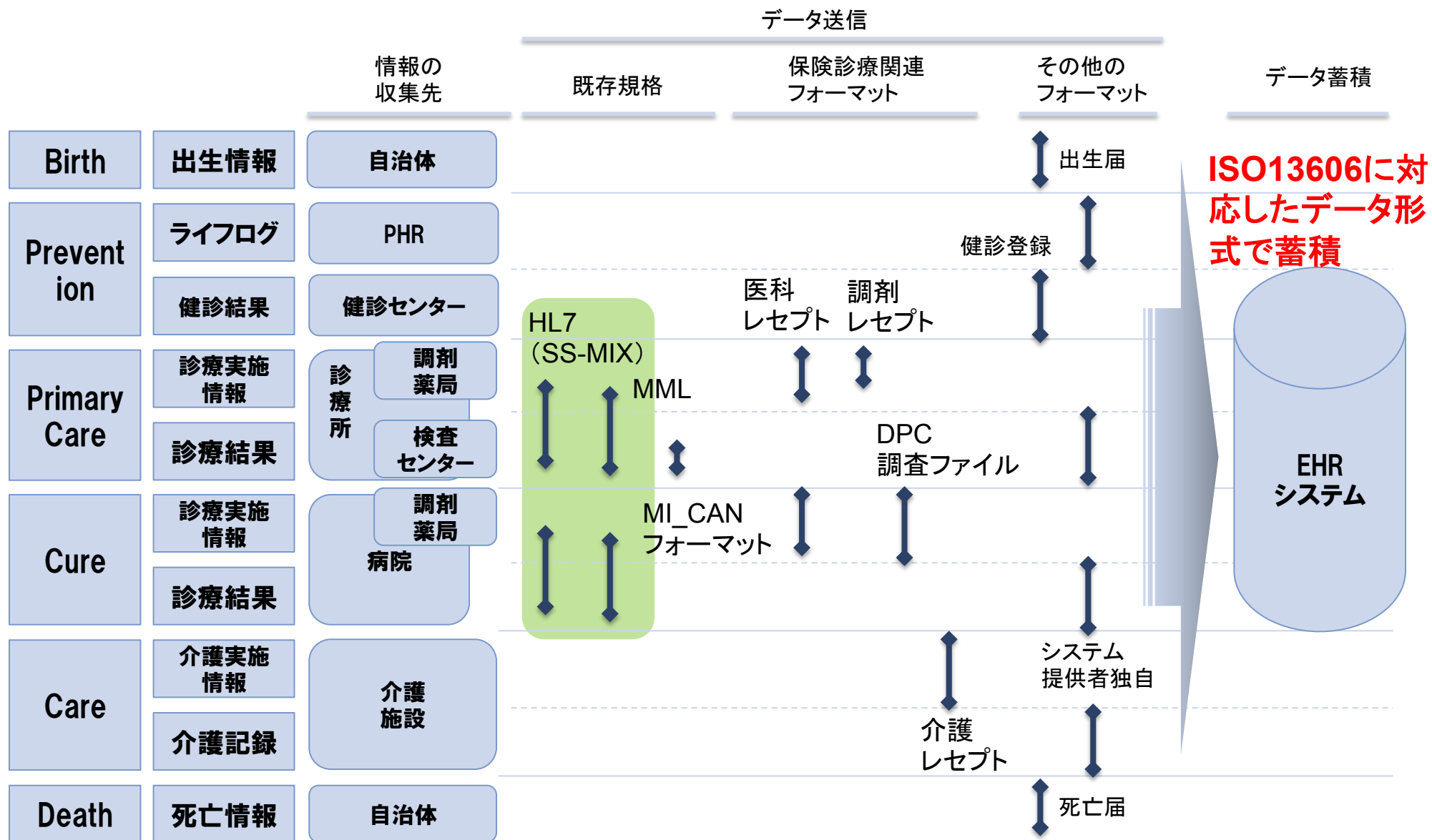
接続先(データ提供元)



※本研究では、システムの構築とあわせ、実装する機能や、運用ルールの検討も実施する。

(参考)収集データと既存規格のカバーする範囲

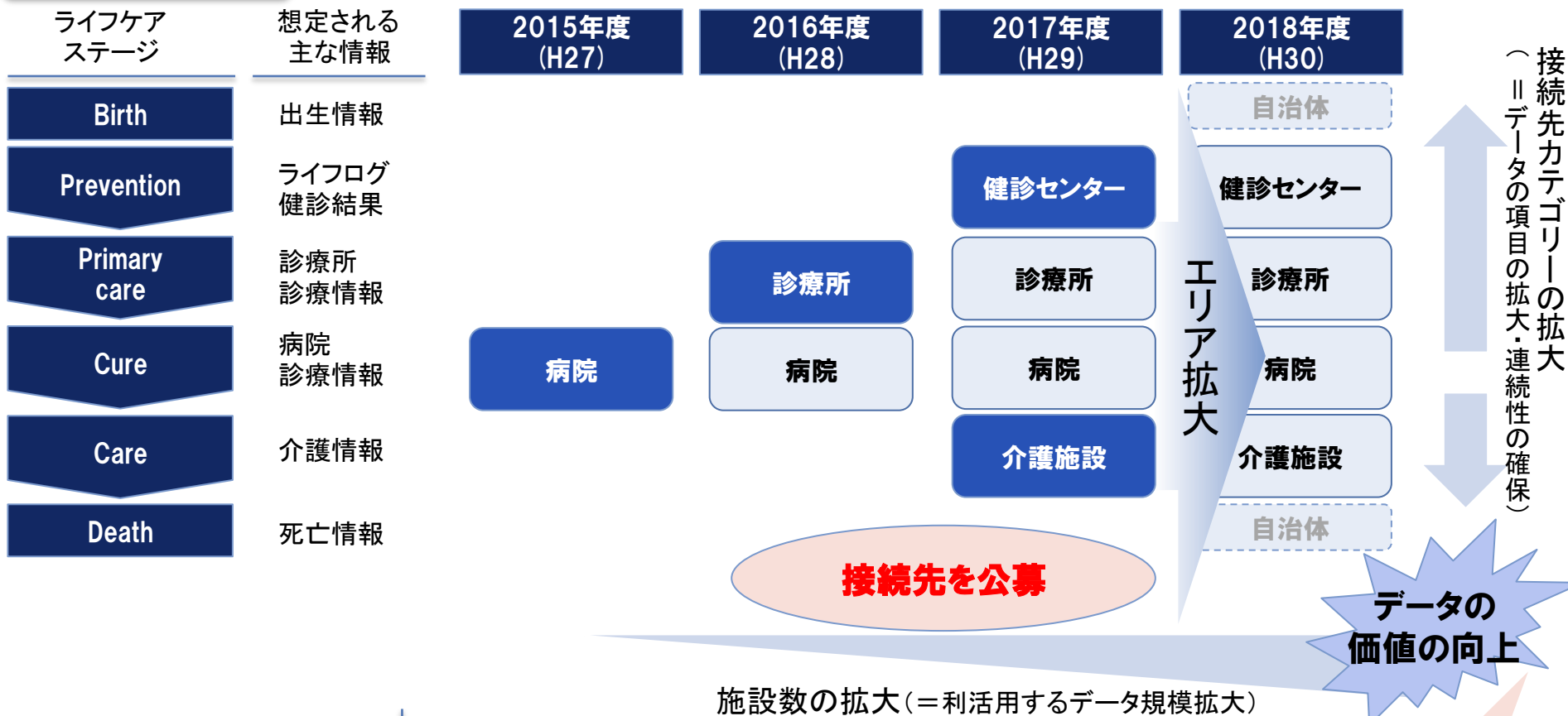
EHRシステムは、様々なフォーマットから送られてくるデータを統一的に蓄積する仕組みが必要。



展開計画

初年度(H27)の成果を基に、接続エリア、施設カテゴリーを広げ、蓄積されるデータの価値を向上する。並行して匿名化データ活用の準備を進め、研究終了後、速やかな収益確保を実現する。

Step1:EHR



Step2:匿名データ運用

二次活用の要件・
ニーズの把握

二次活用の実現
性検証

二次利用運用
ルール等の準備

実証実験・
ノウハウ蓄積

自立採算
確保

千年カルテプロジェクト

世界を代表する国家的医療情報基盤

臨床研究の全国情報基盤

- ◆ 創薬、治験、市販後調査
- ◆ 前向き臨床研究の予備調査
- ◆ 地域医療構想立案のための調査
- ◆ その他、電子カルテと連携した研究

地域EHRの財務基盤安定化

- ◆ EHR運用の最大の課題である維持費の捻出が可能となる
- ◆ 本プロジェクトが地域包括ケアシステムをカバーし、一気に普及

健康支援事業の大量出現

- ◆ 安価でセキュアな健康情報収集/蓄積基盤を提供
- ◆ 千年カルテプロジェクトが、大量の新規事業のポータルとなる。宣伝を兼ねる。

ビジネスモデルの海外進出

- ◆ 医療は海外ではまだまだ成長産業
- ◆ ISO13606を用いた先進的なEHR技術を海外輸出
- ◆ 合わせて機器や病院そのものを輸出